



令和 2 年 2 月 吉日

団体・企業の皆様へ

**東京 2020 大会時の対応に向けた  
アンケート（冬のスムーズBiz実践期間事後）へのご協力のお願い及び  
荷主企業・物流事業者の皆様へのお願い文書の送付**

東京都都市整備局  
東京都オリンピック・パラリンピック準備局

平素より、東京都の事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京 2020 大会）開催まであと半年を切りました。この大会期間中は、選手・観客などの移動に伴い、何も交通対策を行わないと、道路や公共交通機関の深刻な混雑が発生する恐れがあります。

そこで、東京都では、人の流れとして、テレワーク、フレックス制度、時差出勤など、物の流れとして、発注時期の前倒し、余裕を持った発注など、混雑が発生している中でも事業が継続できるよう取組の準備をお願いしています。現在、人の流れにかかわる取組を実践していただく「冬のスムーズBiz実践期間（1 月 14 日から 31 日まで）」を設け、取組後のアンケート調査を実施しておりますので、回答へのご協力をお願いいたします。

また、物流の取組を促進していただくため、荷主企業等の皆様にご検討いただきたい取組内容について記載した文書を同封しています。お取引先などへの呼びかけなどにご活用ください。

※ 既に関係機関等からこれら封入物がお手元に届いている場合は、何卒ご容赦ください。

**【お問い合わせ先】**

東京都都市整備局調整課 03-5388-3329

東京都オリンピック・パラリンピック準備局輸送課 03-5320-7996

**※（お知らせ）東京 2020 大会に向けた無料個別コンサルティング（事前予約制）実施中※**

東京都では、大会に向けた対策の取組支援としてコンサルティングを実施しています。

大会期間中の取組に向け、どのような準備をしたらよいのかお悩みの方、大会時の自社への影響を知りたい方は、「2020TDM 推進プロジェクト運営事務局 個別コンサルティング予約係」(yoyaku@2020tdm.tokyo) までお気軽にお問合せ、お申込ください。



問3-3. 問3-2で「一部部署で実施」と回答いただいた場合、その理由をお聞かせください。(複数回答可)

- 業務の都合上、一部部署でしか実施できない
- ICT環境などが一部部署でしか整備されていない
- 人事制度が全部署(社員)対応となっていない
- 全部署で対応する準備期間が不足
- 経営陣や管理職の働き方改革への意識が不十分
- 社員の働き方改革への意識が不十分
- その他( )

問4. 昨年夏のスムーズBiz推進期間(7/22~9/6)において、テレワーク、時差出勤など交通混雑緩和に向けた取組を実施しましたか。

- 実施した
- 実施していない

問5. 問4で「取組を実施した」と回答いただいた場合、昨年夏と比較した冬の取組状況をお聞かせください。

取組の項目	<input type="checkbox"/> 昨年夏よりも増やした(具体的に)	
	<input type="checkbox"/> 同程度	
	<input type="checkbox"/> 昨年夏よりも減らした(具体的に)	理由
取組の対象者	<input type="checkbox"/> 昨年夏よりも増やした(具体的に)	
	<input type="checkbox"/> 同程度	
	<input type="checkbox"/> 昨年夏よりも減らした(具体的に)	理由
取組の規模感	<input type="checkbox"/> 昨年夏よりも増やした(具体的に)	
	<input type="checkbox"/> 同程度	
	<input type="checkbox"/> 昨年夏よりも減らした(具体的に)	理由

冬のスムーズBiz実践期間中に取組を実施していない企業の方々へ(問6・7)

問6. 冬の期間中に多様な働き方の取組を実施しなかった理由をお聞かせください。(複数回答可)

- 実践期間のことを知らなかった
- 期間中に取組む準備が間に合わなかった
- 社内に人事制度がない
- 経営層の理解が得られない
- 取組を実施するメリットを感じない
- 労働組合や社員から要望がない
- その他( )

問7. 昨年夏のスムーズBiz推進期間(7/22~9/6)において、テレワーク、時差出勤など交通混雑緩和に向けた取組を実施しましたか。

- 実施した
- 実施しなかった

### 3. 今後のスムーズBizの普及促進について(全ての方がご回答ください。)

問8. 東京2020大会に向けた多様な働き方の取組意向をお聞かせください。取組実施を「予定」または「検討中」と回答いただいた場合、取組内容もお聞かせください。(複数回答可)

- 取組実施を予定 ( テレワーク 時差出勤 フレックスタイム制 休暇取得 )
- 取組実施を検討中 ( テレワーク 時差出勤 フレックスタイム制 休暇取得 )
- 取組実施の予定はない
- 現段階では未定

問9. 今後の多様な働き方の推進に向けた課題をお聞かせください。(複数回答可)

- 経営層や管理職の働き方改革への意識向上
- 社内の人事制度の浸透
- 業務繁忙により検討する時間がない
- ICT環境整備などの費用負担
- 取引先等との調整
- 導入・変更する人事制度の内容
- 自社の業種上、実施困難
- その他( )

問10. 今後の多様な働き方の推進に向け、行政に求めることをお聞かせください。(複数回答可)

- 広報等による機運醸成
- 各企業等における定着状況の把握及び周知
- 他企業の取組事例の情報提供
- 制度の導入・活用促進に資するセミナー等の開催
- 専門家やアドバイザーによる相談対応
- 制度導入等への費用助成
- 今回のような取組期間の設定
- その他( )

問11. 期間中を通じて感じた課題や改善すべき点、良かった点等について感想をお聞かせください。

働き方に関する質問は以上です。ご協力ありがとうございました。※FAX回答の場合、両面をご送付ください。

### 【物流に関するアンケート】

#### 1. 大会時に向けた物流の取組状況について

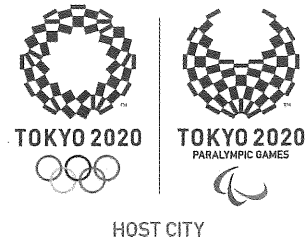
問1. 大会時における物流の取組意向をお聞かせください。

納品・集荷日、受領日の変更	<input type="checkbox"/> 取組内容が決まった(今回取組んだ) <input type="checkbox"/> 取組内容が決まった(今回は取組んでいない)
	<input type="checkbox"/> 検討中(今夏より検討が進んだ) <input type="checkbox"/> 検討中(今夏と進捗がほとんど変わらない) <input type="checkbox"/> 取組む予定はない
納品・集荷時間、受領時間の変更	<input type="checkbox"/> 取組内容が決まった(今回取組んだ) <input type="checkbox"/> 取組内容が決まった(今回は取組んでいない)
	<input type="checkbox"/> 検討中(今夏より検討が進んだ) <input type="checkbox"/> 検討中(今夏と進捗がほとんど変わらない) <input type="checkbox"/> 取組む予定はない
混雑地区や路線の迂回輸送	<input type="checkbox"/> 取組内容が決まった(今回取組んだ) <input type="checkbox"/> 取組内容が決まった(今回は取組んでいない)
	<input type="checkbox"/> 検討中(今夏より検討が進んだ) <input type="checkbox"/> 検討中(今夏と進捗がほとんど変わらない) <input type="checkbox"/> 取組む予定はない
利用する倉庫等施設の変更	<input type="checkbox"/> 取組内容が決まった(今回取組んだ) <input type="checkbox"/> 取組内容が決まった(今回は取組んでいない)
	<input type="checkbox"/> 検討中(今夏より検討が進んだ) <input type="checkbox"/> 検討中(今夏と進捗がほとんど変わらない) <input type="checkbox"/> 取組む予定はない
配送回数削減	<input type="checkbox"/> 取組内容が決まった(今回取組んだ) <input type="checkbox"/> 取組内容が決まった(今回は取組んでいない)
	<input type="checkbox"/> 検討中(今夏より検討が進んだ) <input type="checkbox"/> 検討中(今夏と進捗がほとんど変わらない) <input type="checkbox"/> 取組む予定はない
輸送手段の変更	<input type="checkbox"/> 取組内容が決まった(今回取組んだ) <input type="checkbox"/> 取組内容が決まった(今回は取組んでいない)
	<input type="checkbox"/> 検討中(今夏より検討が進んだ) <input type="checkbox"/> 検討中(今夏と進捗がほとんど変わらない) <input type="checkbox"/> 取組む予定はない

問2. 物流に関して取組む際の課題をお聞かせください。(複数回答可)

- 社内の理解が得られない
- 取引先の理解が得られない(納入元)
- 顧客の理解が得られない(納品先)
- ビジネスチャンスを逃すことになり協力がしづらい
- 何をすればよいかわからない
- 対策をとる必要性がわからない
- その他( )

物流に関する質問は以上です。ご協力ありがとうございました。※FAX回答の場合、両面をご送付ください。



「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会期間中の物流に係る  
ご協力をお願い（荷主各位、物流事業者各位）」についてのご案内

今回、大会に向けた物流効率化を本格化させるため、別添のとおり、大会組織委員会や政府の関係省庁と共に、発側及び着側の荷主企業と物流事業者の皆様にお願いの文書を発出しました。

業界団体様におかれましては、会員企業の皆様への展開をお願いいたします。

企業の皆様におかれましては、お取引先への共有をお願いいたします。

大会に向けた本件について、説明のご要望がある場合には、下記連絡先まで、ご連絡ください。

<連絡先>

東京都オリンピック・パラリンピック準備局大会施設部輸送課TDM担当  
S1050504@section.metro.tokyo.jp（※件名に2020TDMとご記載ください。）  
TEL:03-5320-7996

令和元年 11 月 15 日

東京都 オリンピック・パラリンピック準備局 大会施設部 輸送課

荷主各位

東京都  
東京 2020 組織委員会  
農林水産省  
経済産業省  
国土交通省

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会期間中の  
物流に係るご協力をお願い

平素より、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催準備に向けた取組に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

大会期間中は選手や大会関係者等の道路利用により、首都高速道路では 1 日あたり約 7 万台の交通量が増加し、何も対策を施さなければ、首都高速道路における渋滞の悪化や、都心に向かう一般道における渋滞の発生が見込まれております。

そのため、東京都、国及び東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会においては、「2020TDM推進プロジェクト」として、大会開催時の交通量の抑制や分散、平準化を行う「交通需要マネジメント（TDM）」を推進し、円滑な大会輸送の実現と経済活動の維持との両立を目指すこととしております。

道路交通における具体的な目標は以下のとおりです。

**【TDM実施期間（道路交通）】 2020年7月20日(月)~8月10日(月)、8月25日(火)~9月6日(日)**

**【一般交通】**：都心部(重点取組地区)について、大会前の交通量の30%減※を目指す。東京圏の広域(圏央道の内側)について、大会前の交通量の10%減※を目指す。

**【首都高速道路交通】**：東京圏のオリンピック・ルート・ネットワーク、パラリンピック・ルート・ネットワークの基幹をなす首都高速道路については、交通量を最大30%減※とすることで、休日並みの良好な交通環境を目指す。(TDM、料金施策等により実現)

※混雑時以外への時間変更や混雑箇所以外へのルート変更を含む

この目標を達成するためには、物流事業者の取組のみでは実現困難であり、発側及び着側の荷主の理解を得ることが必要であることをご理解の上、各社において交通量3割減等の達成に向け、下記の取組例等の実施について、大会まで1年を切った今から物流事業者と一体となってお検討いただきますようお願いいたします。

これらの取組をきっかけとして、大会終了後も継続してサプライチェーン全体での物流効率化に向けた取組が行われ、深刻化するトラックドライバー不足の改善や安定的な物流の確保につながるよう、都、組織委員会並びに関係省庁も連携して取り組んで参りますので、ご協力をお願いいたします。

## ○お願いしたい取組例

### 1. 交通量の抑制のための取組例

- ・複数荷主の連携による倉庫の共同使用、共同輸配送
- ・テナントビル等における集配業務の共同化
- ・分散している複数荷主の物流拠点の統合による輸送網の集約
- ・静脈物流の集約・効率化
- ・輸送頻度の削減 等

### 2. 交通量の分散化・平準化のための取組例

- ・十分なリードタイムでの発注による柔軟な輸配送時間帯の設定
- ・十分なリードタイムでの発注による柔軟な輸配送ルートの設定（首都高速道路や都心に向かう一般道を使用しない輸配送ルートの設定）
- ・オフィス移転等大規模な物の移動が伴う作業の大会期間外への変更
- ・セール等販売促進企画の大会期間外への変更
- ・在庫調整による輸配送日の平準化
- ・付帯作業見直しや検品作業の簡素化による納品時間の短縮、輸送の効率化
- ・複数の物流拠点を保有する場合、拠点から配送されるエリア等の弾力的な運用（渋滞が予想されるエリアへの配送について、拠点の変更や複数拠点からの配送等）
- ・納品時間の夜間への変更 等

### 3. その他

- ・特に渋滞が予想されるエリアにおいては、トラックの公道待機などによる渋滞悪化を防止するため、可能な限り「駐車スペースの確保」「スムーズな荷物の受け渡し」にご協力ください。

※具体的な取組検討に際しては、「2020TDM推進プロジェクト」ホームページにて情報提供しております大会輸送影響度マップやTDMハンドブック、アクションプラン作成支援ツールをご活用ください。プロジェクトにご登録いただきますと、個社のご事情に合った取組のご提案を含めた無料コンサルティングをご利用いただけます。

【「2020TDM推進プロジェクト」ホームページURL】

<https://2020tdm.tokyo/>

#### 《連絡先》

○大会輸送に関すること、大会に向けた物流対策について

東京都オリンピック・パラリンピック準備局大会施設部輸送課TDM担当  
[S1050504@section.metro.tokyo.jp](mailto:S1050504@section.metro.tokyo.jp)（※件名に2020TDMとご記載ください。）  
TEL:03-5320-7996

○本ご協力のお願いについて

国土交通省総合政策局物流政策課  
[hqt-tokyo2020-logistics@gxb.mlit.go.jp](mailto:hqt-tokyo2020-logistics@gxb.mlit.go.jp) TEL:03-5253-8801

物流事業者各位

東京都  
東京 2020 組織委員会  
農林水産省  
経済産業省  
国土交通省

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会期間中の  
物流に係るご協力をお願い

平素より、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催準備に向けた取組に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

大会期間中は選手や大会関係者等の道路利用により、首都高速道路では 1 日あたり約 7 万台の交通量が増加し、何も対策を施さなければ、首都高速道路における渋滞の悪化や、都心に向かう一般道における渋滞の発生が見込まれております。

そのため、東京都、国及び東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会においては、「2020TDM推進プロジェクト」として、大会開催時の交通量の抑制や分散、平準化を行う「交通需要マネジメント (TDM)」を推進し、円滑な大会輸送の実現と経済活動の維持との両立を目指すこととしております。

道路交通における具体的な目標は以下のとおりです。

**【TDM実施期間 (道路交通)】 2020年7月20日(月)~8月10日(月)、8月25日(火)~9月6日(日)**

**【一般交通】**： 都心部(重点取組地区)について、大会前の交通量の 30%減※を目指す。東京圏の広域(圏央道の内側)について、大会前の交通量の 10%減※を目指す。

**【首都高速道路交通】**： 東京圏のオリンピック・ルート・ネットワーク、パラリンピック・ルート・ネットワークの基幹をなす首都高速道路については、交通量を最大 30%減※とすること  
で、休日並みの良好な交通環境を目指す。(TDM、料金施策等により実現)

※混雑時以外への時間変更や混雑箇所以外へのルート変更を含む

この目標を達成するためには、物流事業者と荷主が連携し、サプライチェーン全体で交通量削減に向けた取組をしていただくことが必要であることから、荷主に対しても別添のとおり協力をお願いしたところでした。物流事業者各位におかれましても、本大会を一つのきっかけとして、物流効率化に向けた取組を行っていただきますようお願いいたします。

これらの取組をきっかけとして、大会終了後も継続してサプライチェーン全体での物流効率化に向けた取組が行われ、深刻化するトラックドライバー不足の改善や安定的な物流の確保につながるよう、都、組織委員会並びに関係省庁も連携して取り組んで参りますので、ご協力をお願いいたします。

なお、具体的な取組検討に際しては、「2020TDM推進プロジェクト」ホームページにて情報提供しております大会輸送影響度マップやTDMハンドブック、アクションプラン作成支援ツールをご活用ください。プロジェクトにご登録いただきますと、個社のご事情に合った取組のご提案を含めた無料コンサルティングをご利用いただけます。

【「2020TDM推進プロジェクト」ホームページURL】

<https://2020tdm.tokyo/>

《連絡先》

○大会輸送に関すること、大会に向けた物流対策について

東京都オリンピック・パラリンピック準備局大会施設部輸送課TDM担当

[S1050504@section.metro.tokyo.jp](mailto:S1050504@section.metro.tokyo.jp)（※件名に2020TDMとご記載ください。）

TEL:03-5320-7996

○本ご協力のお願いについて

国土交通省総合政策局物流政策課

[hqt-tokyo2020-logistics@gxb.mlit.go.jp](mailto:hqt-tokyo2020-logistics@gxb.mlit.go.jp) TEL:03-5253-8801



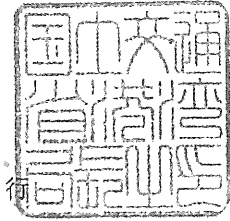


国 港 経 第 4 7 号  
3 1 港 経 振 第 3 8 0 号  
令 和 元 年 1 0 月 2 3 日

利 用 者 様

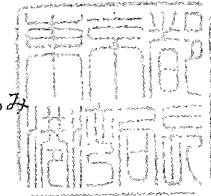
国土交通省港湾局長

高 田 昌 衛



東京都港湾局長

古 谷 ひろみ



### 東京港コンテナターミナルにおける長期蔵置貨物の解消について

東京港ではコンテナ貨物取扱量が伸び続けている一方で、一部のコンテナターミナルのゲート前において交通混雑やトラック運転者の長時間待機が発生していることが課題となっております。

さらに、来年の東京 2020 大会において多くの競技会場が臨海部に配置され、多数の大会関係車両が走行することから、港湾関係車両との輻輳によって深刻な交通混雑が発生することが懸念されております。

こうした中、東京港のコンテナターミナル内の蔵置貨物量が、東京 2020 大会及びその前後の期間に増加することにより作業効率が低下し、コンテナターミナルのゲート前での交通混雑の発生や貨物の停滞による物流への影響を懸念しております。

そのため、東京 2020 大会開催までにヤード内の長期蔵置貨物を解消し、作業効率を確保することが重要と考えております。現在でも実入蔵置貨物の 1 割程度は 2 週間を超えて蔵置されており、ヤード内の蔵置貨物量の適正化と荷役効率の改善には、長期蔵置貨物の解消が必要不可欠な状況となっております。

つきましては、下記の取組について特段のご配慮とご協力を賜りますようお願い申し上げます。本取組につきましては、全てのコンテナターミナルの利用者様に速やかにかつ確実に実施していただくことにより、初めて大きな効果に結びつくものと考えております。

、東京 2020 大会の成功と首都圏の物流機能の維持との両立を図るため、国及び東京港の関係者が一丸となって混雑対策に取り組んでまいりますので、何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 1 2019 年 12 月からは、全ての貨物において、無料保管期間（フリータイム）の延長を行わず、貨物の早期搬出にご協力をお願いいたします。
- 2 デマレッジ（フリータイムを超えてコンテナヤードに留置された場合に課される超過保管料）についても、適切な運用へのご理解をお願いいたします。